

各位

会社名	タカラバイオ株式会社 (コード番号 4974 東証 1部)
本社所在地	滋賀県草津市野路東七丁目4番38号
代表者	代表取締役社長 仲尾 功一
問合せ先	執行役員事業管理本部長 掛見 卓也
TEL	(077) 565-6970
URL	https://www.takara-bio.jp/

業績予想の修正および配当予想の修正(増配)に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、2021年5月13日に公表した業績予想および2022年3月期の期末配当予想を、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1)2022年3月期第2四半期累計期間 連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	24,609	7,139	7,220	4,889	40 61
今回発表予想 (B)	29,700	11,400	11,400	7,900	65 61
増減額 (B-A)	5,090	4,260	4,180	3,010	-
増減率 (%)	20.7	59.7	57.9	61.6	-
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	17,393	3,736	3,820	2,274	18 89

(2)2022年3月期通期 連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	50,500	14,000	14,200	9,800	81 38
今回発表予想 (B)	54,200	17,000	17,100	11,900	98 82
増減額 (B-A)	3,700	3,000	2,900	2,100	-
増減率 (%)	7.3	21.4	20.4	21.4	-
(ご参考) 前期通期実績 (2021年3月期通期)	46,086	13,952	14,159	9,547	79 29

(3)修正の理由

上期および通期の業績予想につきましては、直近の状況を踏まえ、2021年5月13日に公表いたしました業績予想を修正しております。

売上高につきましては、新型コロナウイルスの影響を受け低迷していた一般研究用試薬市場の回復に加え、新型コロナウイルスのPCR検査関連製品も増加し、さらに、遺伝子解析・検査関連受託などのCDMO事業が増加することが予想され、全体では計画を上回る見込みであります。

販売費及び一般管理費につきましては、研究開発費を当初計画より増加させるものの、増収による売上総利益の増益が大きく、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益は、前回予想を上回る見込であります。以上の理由から上期および通期業績予想を修正しております。

なお、今回発表の予想の詳細につきましては、本日公表の「2022年3月期第1四半期決算短信」の11-12ページとあわせてご覧ください。

2. 配当予想の修正

(1) 配当予想の修正内容

基準日	1株あたり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2021年5月13日公表)	0円00銭	16円00銭	16円00銭
今回修正予想	0円00銭	20円00銭	20円00銭
当期実績			
前期実績 (2021年3月期)	0円00銭	16円00銭	16円00銭

(2) 修正の理由

当社は、バイオ産業支援・遺伝子医療の各事業における研究開発活動を積極的に実施していくため、内部留保の充実に意を用いつつ、株主の皆様への利益還元についても重要な経営課題と位置づけ、経営成績および財政状態を総合的に勘案して利益還元を実施していくことを基本方針としております。具体的には、連結財務諸表における特別損益を加味せずに算出された想定当期純利益の20%程度を目的として剰余金の配当を行う方針であります。

前述の通期連結業績予想数値の上方修正および上記の株主還元方針に基づき、2022年3月期における期末配当予想を1株当たり16円00銭から20円00銭に修正いたします。

なお、2022年3月期の期末配当金につきましては、2022年6月開催予定の第20回定時株主総会に付議する予定であります。

以上

当資料取り扱い上の注意点

当資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものでありますが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。